

議長賞

(中学生の部)

「大麻に負けない強い心を持とう」

岸和田市立山滝中学校1年 谷藤 心咲 さん

最近、ニュースやインターネットで「大麻」という言葉をよく目にするようになりました。特に有名な芸能人やスポーツ選手が大麻を使って逮捕されたというニュースを見ると、とても残念な気持ちになります。カッコいいと思っていた人が、そんなことをしてしまうなんて信じられませんでした。私達中学生にとっても、大麻という言葉は決して遠い存在ではなく、しっかりと考えないといけない問題なのだと思います。

まず、大麻とは何かについて調べてみました。大麻は、植物の一種から作られる薬物で、使うと気持ちがふわふわしたり、現実から逃れられるような感覚になることがあります。でも、そのような効果には大きな落とし穴があります。大麻を使うと、脳や体に悪い影響を与えたり、判断力がなくなったりすることがあるのです。最初は「ちょっとだけなら大丈夫」と思っても、だんだんとやめられなくなり、もっと強い薬に手を出してしまう人もいます。そうなってしまったら、自分の未来をこわすことになるのは明らかです。

また、日本では大麻を持つことも使うことも、法律で禁止されています。つまり、大麻を使うことは「犯罪」なのです。たとえ中学生であっても、大麻を使えば警察に捕まる可能性があります。そして、一度でもそんなことをしてしまうと、学校や友達、家族からの信頼を失ってしまうかもしれません。将来の進学や就職にも大きな影響が出てしまいます。たった一度の間違いが、自分の人生を大きく変えてしまうのです。

では、なぜ人は大麻を使ってしまうのでしょうか？それは、「楽になりたい」「ストレスを忘れたい」「友達にすすめられたから」といった理由が多いようです。特に思春期の私達は悩み事が多く、気持ちが不安定になりやすい時期です。友達とうまくいかなかったり、勉強についていけなかったりすると、「何かにすがりたい」と思うってしまうこともあるかもしれません。そんなときに「これを使えば楽になるよ」と言われたら、つい手を出してしまう人がいるのだと思います。

でも、そこで本当に大切なのは、「ダメなことはダメ」としっかりと断る勇気です。どんなに辛くても、薬物に逃げてしまったら、もっと苦しい未来が待っています。私は、どんな時でも自分の気持ちと向き合い、家族や先生、信頼できる友達に相談することが大切だと思います。一人で抱えこまずに、誰かに話すことで、心が軽くなることもあるのです。

私の学校でも、薬物乱用防止教室が行われました。そこで警察官の方が、「大麻は明るい未来を壊し、命を奪う危険なものです。」と強く言っていたことを覚えています。最初は「自分には関係ない」と思っていたけど、話を聞いていくうちに、これは誰にでも起こりうる問題だと気づきました。SNSやインターネットが発達した今、簡単に悪い情報や薬物が広まってしまう時代です。だからこそ、正しい知識を持って、自分を守る力をつけることが必要だと感じました。

これから中学生の私たちは、大人に近づくにつれ、もっと自由な時間や行動が増えていきます。その中で、良いことも悪いことも自分で判断しなければならない場面が多くなります。そんなときに、「これは自分の将来にとって本当に正しいことか？」と立ち止まって考える力が必要です。そして、悪い誘惑には「NO」と言える強い心を持つことが、自分自身を守ることにつながるのです。

私はこれからも、大麻のような危険な薬物には絶対に手を出さず、真っ直ぐな気持ちで生きていきたいと思います。そして、もしも友達が間違えそうになった時は、一緒に

止めてあげられるような存在になりたいです。自分の未来を大切に、大切な人たちと明るく健康な毎日を送るために、私は大麻に負けない強い心を持ち続けていきたいと思っています。